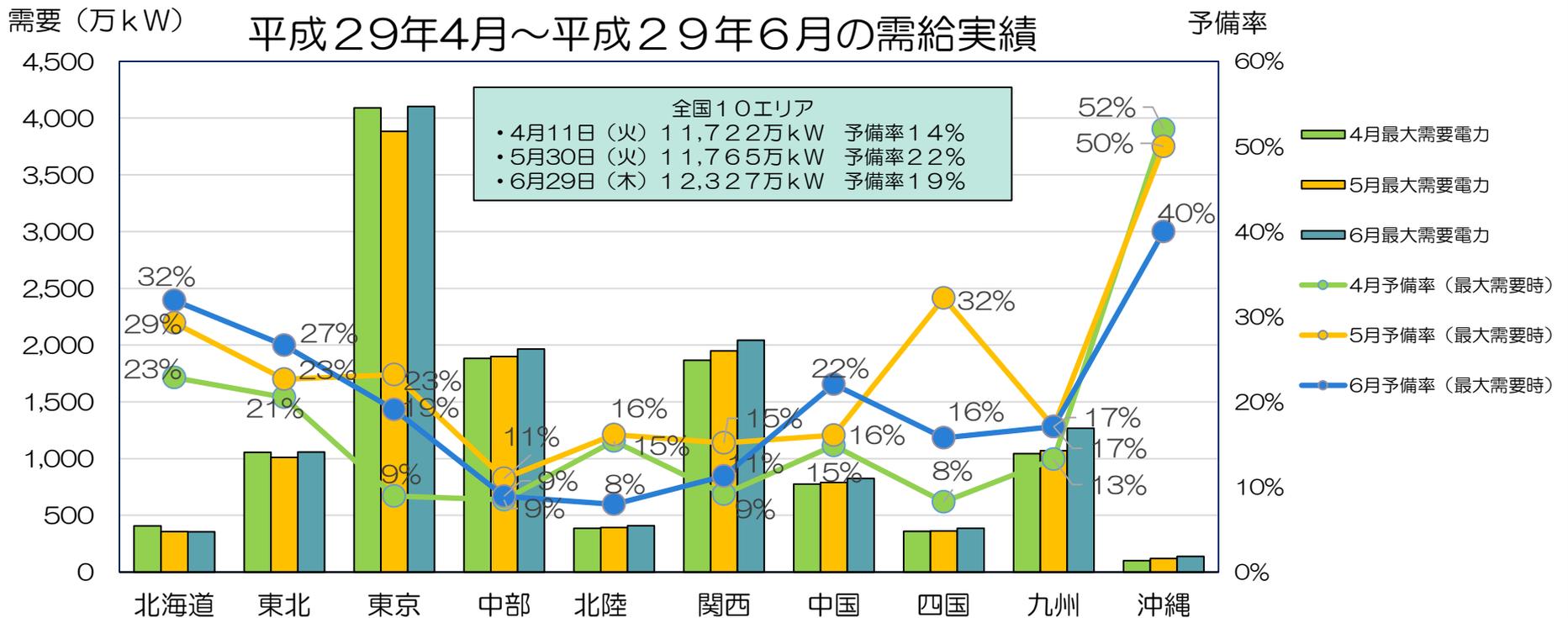


1. 理事会の活動 ①-1 理事会の審議(主要審議事項)

- 第104回理事会 (平成29年4月5日)
 - ✓ 平成29年度会費及び特別会費の請求について
- 第106回理事会 (平成29年4月19日)
 - ✓ 電力需給検証結果の取りまとめについて
 - ✓ 広域機関システム開発体制の強化について
- 第108回理事会 (平成29年4月26日)
 - ✓ リプレース対象廃止計画のリプレース該当可否判断について
- 第110回理事会 (平成29年5月12日)
 - ✓ 第4回通常総会の招集及び開催について
- 第113回理事会 (平成29年5月31日)
 - ✓ 連系線の運用容量算出における検討条件について
- 第118回理事会 (平成29年6月28日)
 - ✓ 広域機関システム開発業務委託契約の納期遅延に伴う契約変更について
- 第119回理事会 (平成29年7月5日)
 - ✓ 電力需給及び電力系統に関する概況(平成28年度の実績)の取りまとめについて
- 第120回理事会(平成29年7月12日)
 - ✓ 調整力及び需給バランス評価等に関する委員会の委員の選任について
- 第121回理事会 (平成29年7月25日)
 - ✓ 広域機関システムの連系線新ルール対応及びネガワット本格対応について

- 第122回理事会（平成29年8月10日）
 - ✓ セキュリティログ監視システムの導入について
- 第123回理事会（平成29年8月23日）
 - ✓ 電気供給事業者に対する指導等について

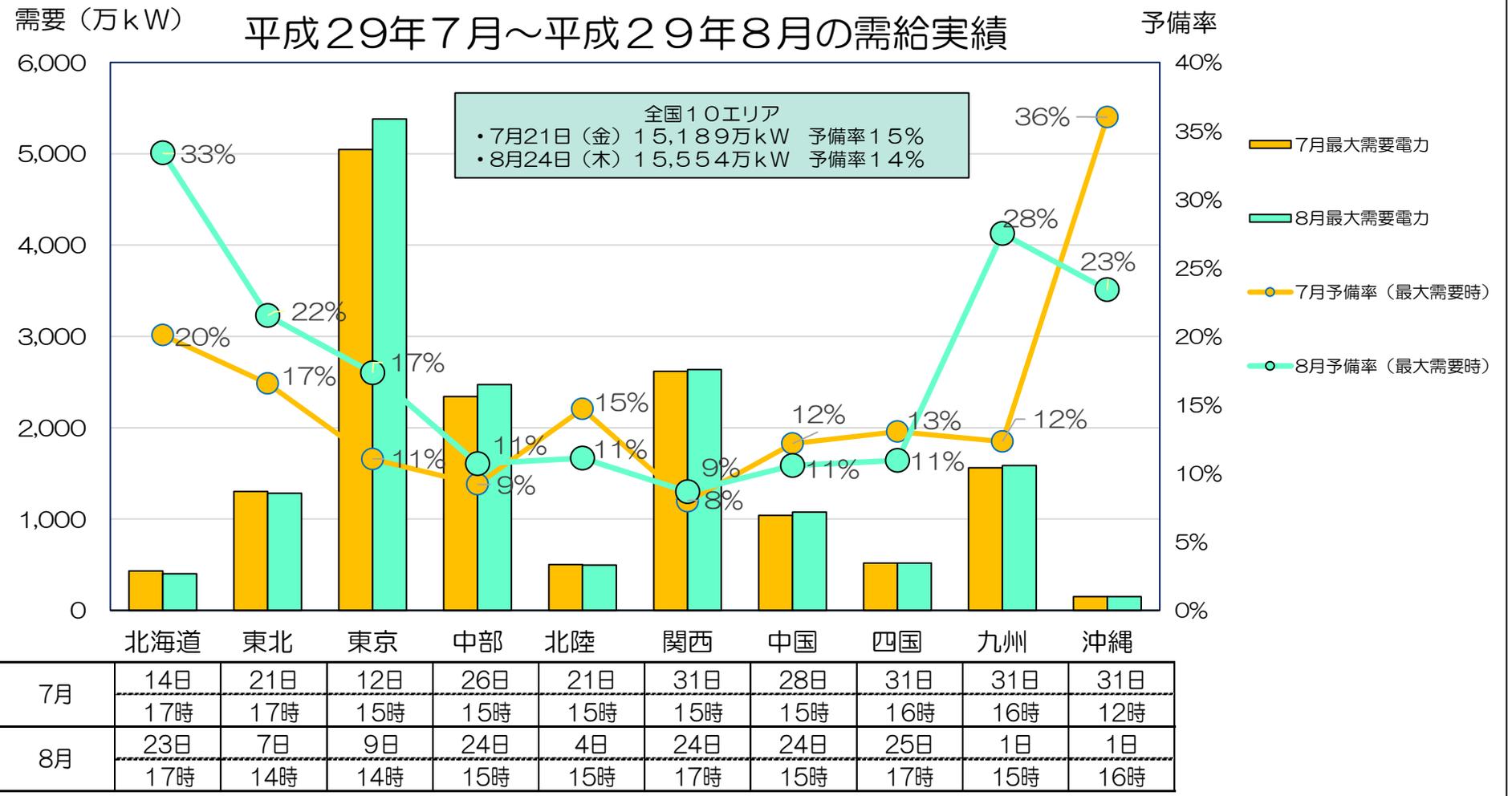
3-1. 全国及び供給区域ごとの需要に対する適正な供給力の確保状況の評価に関する事項



4月	13日	3日	11日	11日	11日	11日	11日	10日	10日	17日
	19時	19時	19時	11時	11時	11時	10時	19時	19時	20時
5月	15日	31日	30日	12日						
	19時	15時	17時	15時						
6月	1日	30日	29日	29日	29日	23日	23日	19日	30日	26日
	18時	15時	15時	12時	15時	15時	14時	17時	16時	12時

※速報値であり、後日修正する場合があります。

3-2. 全国及び供給区域ごとの需要に対する適正な供給力の確保状況の評価に関する事項



※速報値であり、後日修正する場合があります。

○ 今夏は、全国および供給区域とも、需要に対する適正な供給力を確保できていた。

4. スイッチング支援システムの利用状況

(単位:千件)

エリア	スイッチング開始申請件数 (平成28年3月1日からの累計)						
	H28 3/31 まで	H28 6/30 まで	H28 9/30 まで	H28 12/31 まで	H29 3/31 まで	H29 6/30 まで	H29 8/31 まで
北海道電力	19.8	63.2	94.7	129.2	164.6	233.7	256.0
東北電力	7.6	32.4	57.0	84.7	121.8	155.1	182.8
東京電力PG	315.2	762.5	1,083.1	1,443.8	1,813.8	2,185.8	2,470.2
中部電力	20.1	83.7	146.3	202.8	295.1	361.2	411.4
北陸電力	1.1	3.1	6.0	12.3	20.6	25.7	29.1
関西電力	132.0	260.5	380.9	517.9	721.5	900.2	1,027.7
中国電力	0.4	3.2	7.7	16.6	40.3	59.4	73.0
四国電力	2.0	5.8	11.9	21.0	32.9	47.4	58.5
九州電力	13.1	50.0	96.7	146.2	217.3	284.0	324.9
沖縄電力	0	0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
合計	511.3	1,264.4	1,884.3	2,574.5	3,427.9	4,252.6	4,833.7

251 千件/月 207 千件/月 230 千件/月 284 千件/月 275 千件/月 291 千件/月

5. ①広域系統整備委員会

■ 検討事項

定款第4条第1項の規定に基づき広域系統整備委員会を設置し、以下の事項を検討する

- (1) 広域系統長期方針に係る検討
- (2) 広域系統整備計画に係る検討 など

■ 概要スケジュール

項目		平成29年度				平成30年度以降
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
委員会開催実績・予定		★ ★	★ ★	★ ★	★ ★	
広域系統長期方針	流通設備効率向上	潮流想定の合理化等に向けた取組の方向性検討		具体的な個別系統の評価等		想定潮流合理化等適用
	費用対便益評価	課題・方向性の整理		費用対便益 評価方法整理		具体的な課題対応等
	アクセス業務のあり方 (情報公開、検討スキームなど)	課題の整理		方向性の検討	詳細設計	
中国九州間連系線		検討の方向性検討		コスト・効果確認	進め方の決定	
コスト等検証小委員会 (調達における基本的な考え方、東清水FC)		★ ★ 東京中部間調達の基本的な考え方の検証	★ 東清水FC発注方式の検証	★ ★ ★ 東北東京間調達の基本的な考え方の検証		

※コネクト&マネージ：運用面を工夫することでできるだけ多くの電源を接続させる仕組み（詳細は参考資料参照）

■ 委員会の議事

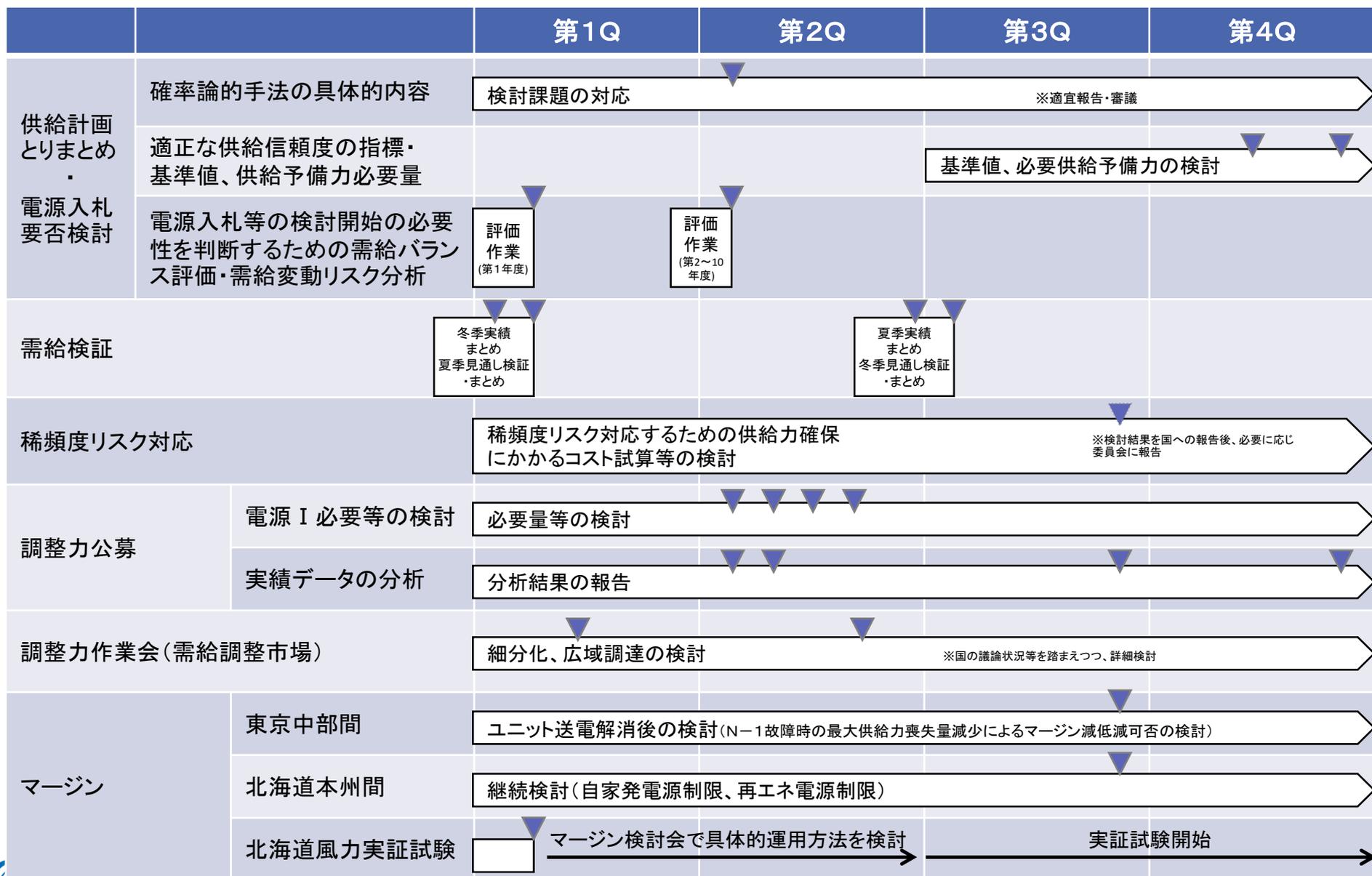
開催回	議事	備考
第23回 (H29.4.24)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 広域系統長期方針（流通設備効率の向上） ➢ 広域系統整備計画（計画策定プロセスのレビュー） 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 流通設備効率の向上 取り組みの進め方 ➢ 計画策定プロセスのレビュー 振り返りと課題整理
第24回 (H29.6.26)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 広域系統長期方針（費用対便益評価 アクセス業務の在り方） ➢ 広域系統整備計画（中国九州間連系線） ➢ 計画策定プロセス開始要件適否確認 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 費用対便益評価 今後の進め方 ➢ アクセス業務の在り方 課題の整理及び今後の進め方 ➢ 中国九州間連系線 検討の方向性
第25回 (H29.8.4)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 広域系統長期方針（流通設備効率の向上 アクセス業務の在り方） ➢ 広域系統整備計画（東京中部間連系設備及び東北東京間連系線の進捗状況 コスト等検証小委員会 中国九州間連系線） 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 流通設備効率の向上 取り組みの方向性、想定潮流の合理化 ➢ アクセス業務の在り方 スキームの整理 ➢ 中国九州間連系線 シナリオ設定の課題

取組	想定潮流の合理化	コネクト&マネージ	
		N - 1 電制 (N - 1 故障時瞬時電源制限)	アンファーム型接続 (平常時出力抑制条件付き) 電源接続
運用制約	原則、マネージなし	N - 1 故障 (電力設備の単一故障) 発生時に電源制限	平常時の運用容量超過で電源抑制
設備形成	<ul style="list-style-type: none"> ・接続前に空容量に基づき接続可否を検討 ・想定潮流が運用容量を超過で増強 		<ul style="list-style-type: none"> ・事前の空容量に係わらず、新規接続電源の出力抑制を前提に接続 ・主に費用対便益評価に基づき増強を判断
取組内容	想定潮流の合理化・精度向上 ・電源稼働の蓋然性評価 ・自然変動電源の出力評価	N - 1 故障発生時に、リレーシステムにて瞬時に電源制限を行うことで運用容量を拡大	系統制約時の出力抑制に合意した新規発電事業者は設備増強せずに接続
混雑発生	(平常時) なし	(平常時) なし	(平常時) あり
	(故障時) あり ⇒電源抑制※1 に対応	(故障時) あり ⇒電源制限※2 に対応	(故障時) あり

※1 給電指令による発電出力抑制

※2 リレーシステムによる瞬時の発電出力制限

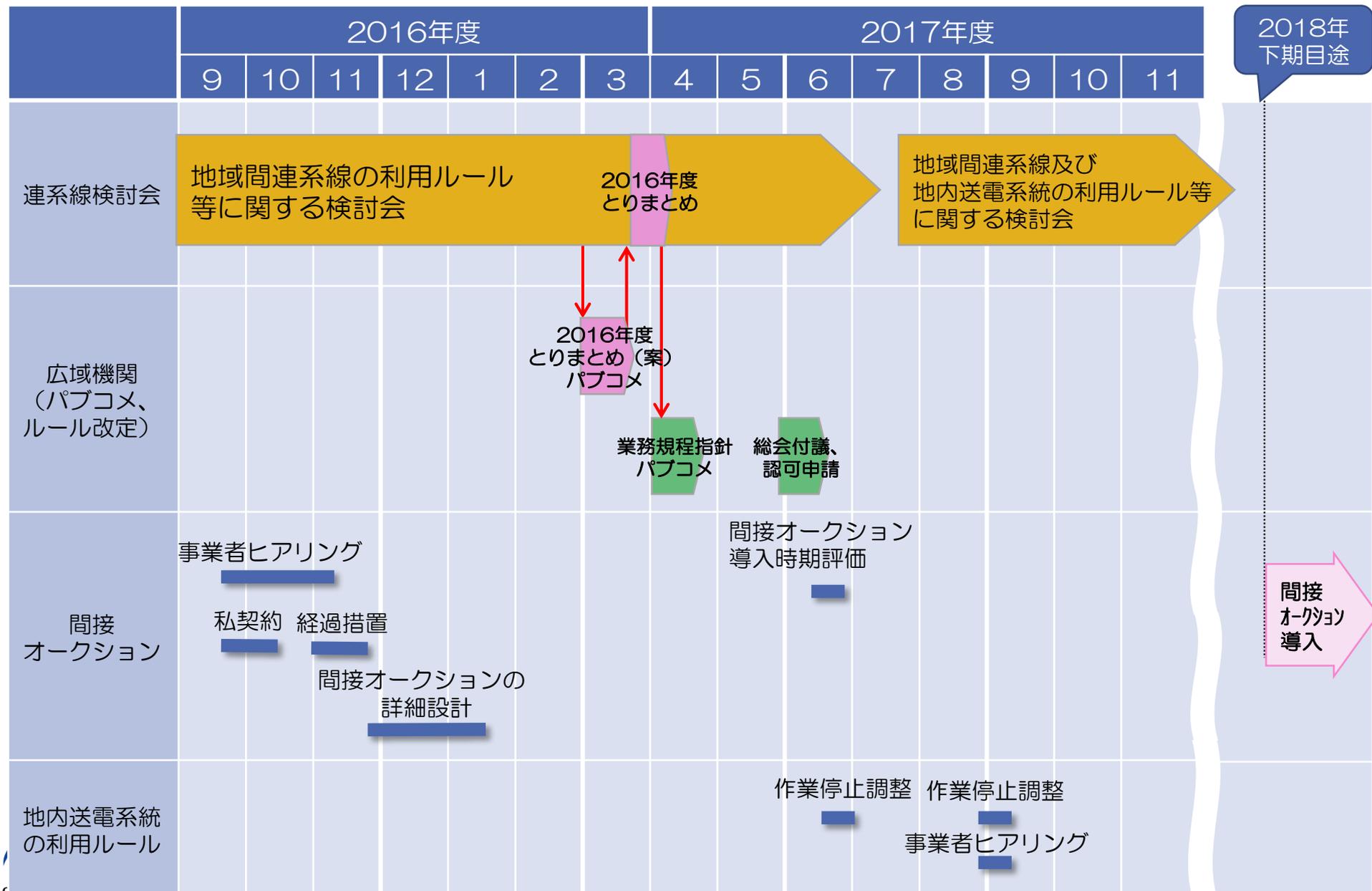
5. ②調整力及び需給バランス評価等に関する委員会



マージンの必要性・量の検討

委員会での審議・報告

5. ③地域間連系線の利用ルール等に関する検討会



間接
オークション
導入

5. ④情報セキュリティに関する取組み

<計画と実績>

